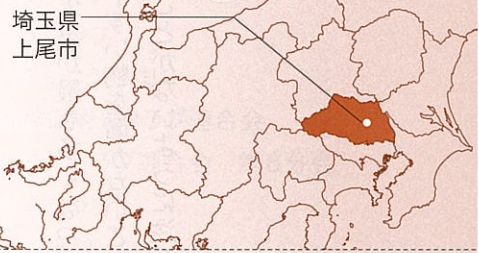




首都圏住宅都市部における「会員増強運動」

埼玉県上尾市いきいきクラブ連合会

●クラブ数 89クラブ ●会員数 5186名(男性2293名、女性2893名)



運動計画書を作成、連合会理事会の承認を得て、即時、運動の実施を地区連合会、単位クラブに指示しました。市連合会に取りまして、誠に好タイムイングでした。運動名称は、徐々に高く飛び立つことをイメージして「蛙飛び大作戦」としました。

目標数は5年間で750人(年150人)、各単位クラブの目標数は10人(年2人)、クラブ新設目標は2クラブです。

初年度(平成27年)の実績は189人と、目標を39人上回る好成績をあげることが出来ました。運動開始の前年(26年度)に100人の増員を達成した勢いが、そのまま続きました。



会員手づくりの「創作展」

上尾市は首都圏を構成する埼玉県南部に位置する、人口約22万人の住宅都市です。市連合会の会員数は平成20年度以降の5年間、一進一退を繰り返して来ました。転機が訪れたのは平成25年度で、二つの事務区(地区)におけるクラブの新設が、市連合会の会員増強運動に勢いを与えてくれたと思います。

「蛙飛び大作戦」1年目の成果

運動に勢いがつきかけた翌平成26年度、埼玉県老連から「3万人会員増強運動」に関連した「会員増強運動計画書」提出の要請を受け、



グラウンド・ゴルフ大会

しかし単位クラブの実績をみると、目標達成は41クラブと半数弱、反対に現状維持と減少は48クラブと過半数に達している、単位クラブが抱えて来た課題を浮き彫りにしました。会員の皆さんが本気になって頑張り、クラブの新設による「増員効果」で、市連合会の初年度目標を達成する事が出来たのです。

新たに5クラブを設立

近年の時代背景として、高齢者の急激な増加がありますが、これがそのまま老人クラブの会員増強運動の「追い風」になっていないところが、老人会の抱える課題「組織・運営・活動」です。

市連合会は運動初年度において5クラブを新たに設立しましたが、残念ながら1クラブ解散したため、4クラブ増になりました。5クラブの内、2クラブの設立には約10年の歳月を費やしました。他の1クラブは上尾駅前

口増加に伴い規模が拡大、旧クラブを廃止して新たに創立したものです。いずれの場合も、クラブ新設には地区の代表者「事務区長」の理解と協力が必要です。そのためには、老人会と事務区長会との定期的な交流を通じて、事務区長を動かすために必要な情報を提供することです。

次いで大切なことは、地区のリーダーである「各種同好会」探しですが、地域には住民を代表するリーダーが必ず存在するはず。そのリーダーが見つければ、クラブ新設の足掛かりが出来たこととなります。

そして「地区高齢者の意識調査」「活動責任者の人選」を行い、クラブ設立準備委員会を立ち上げた段階でクラブ設立の準備は終わり、



様々な演目が登場する芸能大会

今後もクラブ新設が最大の目標

上尾市は事務区(地区)制度が採用されており、事務区毎にクラブが設立されることが、理想的な姿と思います。実情としてはクラブの無い事務区が23あり、この事務区にクラブを新設することこそが最大の目標で、会員増強運動の柱になると確信いたします。

1年目の増員実績には、新設クラブの増員が43%(162名)を占めており、今後「5ヶ年計画」を達成するための重要な「鍵」として、市民であればどの地区に住んでいても、クラブの会員となれますように努力していきたいと思えます。

(副会長 溪圭一郎)